

電源コードで火災事故

事故の概要

木造平屋建て住宅から出火、住宅の一部を焼き、左手にやけどを負った。

事故の原因

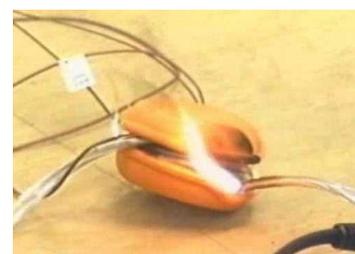
定格電流10A*の延長コードでテレビ、電子レンジ、電気ポットなど10Aを超えるたこ足配線で使用していました。また、コードを束ねた状態であったため、束ねた部分が発熱・発火して周辺に燃え広がったものです。

【NITEの再現実験】定格電流が7Aの延長コードを束ねた状態にして、1300W(13A)のホットプレートを使用しました。約25分後に束ねたコードの部分が180度に達し、発火しました。

※平成24年1月13日付け電気用品安全法の改正により、延長コードの定格電流（安全に接続できる最大の電流値）が15Aまたは20Aに変更されています。

【消費電力のめやす】

・ドライヤー 1200W ・アイロン 1000W ・電子レンジ 1200W ・ジャーポット 1000W
・ホットプレート 1300W ・電磁調理器 1200W ・炊飯器 800W など



再現実験（上がコードを束ねた状態、下はコード巻き取り器）



事故防止のために

- ◆コードに記載されている定格電流を超えるたこ足配線をしないでください。
- ◆コードを束ねたまま使用すると放熱が妨げられて、コードの温度が高くなります。
- ◆コードリールは、コードの一部を引き出した時と、すべてを引き出した時の定格電流が異なります。取扱説明書通りの消費電流を守って使ってください。
- ◆コードの上にものを乗せないでください。傷がついたり、熱がこもったりします。
- ◆コンセントの抜き差しでは、コードを無理に引っ張らないでください。芯線がきれたり、取り付け部分がショートしたりします。
- ◆テーブルタップは差し込み口の数だけ電源プラグを差し込んで使用できるものではありません。製品の消費電力を把握した上で使ってください。